

# 千葉県地域医療再生計画(平成 24 年度補正予算)の概要

本県の地域医療再生計画(平成 24 年度補正予算)は、以下の4つの柱の施策で構成する。

総事業費 2,019,300 千円 基金負担額 1,350,000 千円

## 1 地域差のある医師不足への対応【高齢化率の高い地域の医師確保】(③医師確保対策)

- \* 本県の医師数:全国 45 位(人口 10 万人対)、高齢者人口はこの 10 年で 1.6 倍に。
- \* 特に高齢化率が高い圏域は、早急な医師確保と地域への定着を図る対策が必要。

具体的な施策 (総事業費 144,000 千円、基金負担分 144,000 千円)

- 香取海匠医療圏と安房医療圏において、寄附講座等の設置により、大学と地域の病院が連携して医師の研修や看護師等の確保策を実施する。

期待される効果⇒医師不足の地域で、確実な医師の確保と将来的な医師の定着が図れる。

## 2 介護と連携した在宅医療の整備(④在宅医療推進事業)

- \* 本県の在宅療養支援診療所数:4. 2(人口 10 万人対)、全国平均は10. 1。
- \* 在宅療養に必要なのは、「訪問医療サービス」の他に「介護サービス」という県民の声。

具体的な施策 (総事業費 189,000 千円、基金負担分 189,000 千円)

- 介護と連携した在宅医療の連携拠点を整備するモデル事業
- 在宅医療の全県普及を目指すセンターと地区医師会等とのネットワーク整備
- 日常的な口腔ケアや服薬指導、在宅緩和ケアを担う人材の育成、等

期待される効果⇒介護と連携した在宅医療体制が整備され、最後まで自宅等で療養できる。

## 3 災害(津波)発生に備えた医療機能の充実強化(①津波対策)

- \* 本県は、南海トラフ巨大地震で 10 メートルを超える津波高が想定されている地域。
- \* 特に大きな被害が予想される沿岸3医療圏の災害拠点病院等の施設整備は喫緊の課題。

具体的な施策 (総事業費 1,459,500 千円、基金負担分 900,000 千円)

- 大きな津波被害が予想される3医療圏の災害拠点病院等の施設整備
- 県全体の災害拠点病院等の施設・設備の充実強化
- DMAT 活動拠点本部や SCU(航空搬送拠点臨時医療施設)の設置に必要な設備整備

期待される効果⇒大規模災害時においても適切な医療提供体制が維持できる。

## 4 山武長生夷隅圏域の救急医療体制の底上げ(⑦状況の変化に伴い必要となる取組)

- \* 山武長生夷隅医療圏は、救命救急センターがなく、救急医療体制が特に脆弱な圏域。
- \* 東千葉メディカルセンター(H26.4 開院)の運営が軌道に乗るまで、初期二次救急の支援が必要。

具体的な施策 (総事業費 226,800 千円、基金負担分 117,000 千円)

- 病院群輪番制病院における医師確保や救急医療コーディネートシステムの運用を支援

期待される効果⇒救急医療に携わる医師確保が強化され、将来的な医師確保にも寄与する。

# 千葉県地域医療再生計画（平成24年度補正予算）の事業展開

## 施策の柱

- 急速な高齢化に伴って増加するニーズに対応できる医療体制の整備  
 (●高齢化率の高い地域の医師確保、●在宅医療の整備、●救急医療の強化)
- 大規模災害（津波）にも強い医療体制の整備  
 (●大きな被害が予想される香取海匝・山武長生夷隅・安房の3医療圏を中心に)

